

特集

進化〈第一部〉

ダーウィン・生物の進化をめぐる旅

青年ダーウィンとビーグル号／南アメリカで未知の化石続々発見／
進化の「実験室」ガラパゴス／大反響と反発をよんだ『種の起源』

進化〈第二部〉

固有種の楽園、進化の実験室

ガラパゴスのいま

系統と進化の謎に迫る

6人の研究者たち



「milsil (ミルシル)」について

'milsil (ミルシル)' の 'mil (ミル)' は「見てみる」「聞いてみる」「やってみる」の「ミル」。そのような「ミル」から、新たな、そして豊かな 'sil (シル=知る)' が得られるでしょう。この雑誌とともに、皆様が楽しい「ミルシル」体験をされることを願っています。

C O N T E N T S

- 3 創刊にあたって
科学を文化に 国立科学博物館長 佐々木 正峰

- 4 サイエンス・インタビュー 科学のいま、そして未来
地底での素粒子研究から宇宙の謎に迫る
戸塚 洋二 (独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター所長)

- 6 【特集】進化 <第一部>
ダーウィン・生物の進化をめぐる旅
青年ダーウィンとビーグル号
南アメリカで未知の化石続々発見
進化の「実験室」ガラパゴス
大反響と反発をよんだ『種の起源』



©OASIS

- 14 【特集】進化 <第二部>
14 固有種の楽園、進化の実験室
ガラパゴスのいま

- 16 系統と進化の謎に迫る
6人の研究者たち

国立科学博物館 動物研究部 山田 格・西海 功 / 同 植物研究部 岩科 司・遊川 知久 /
同 地学研究部 加瀬 友喜 / 同 人類研究部 馬場 悠男

- 20 【標本の世界】
謎の巨大魚 マンボウ
松浦 啓一 (国立科学博物館 コレクションディレクター)

- 22 人類と自然の共存をめざして 第1回
地球温暖化は、本当に起きているのだろうか？
住 明正 (東京大学地球持続戦略研究イニシアティブ統括ディレクター・教授)

- 26 親子で遊ぼう! 科学冒険隊
#01 光でアートする
松村 泰三 (東北芸術工科大学情報デザイン学科准教授)

- 30 サイエンスコミュニケーションへの招待 第1回
サイエンスコミュニケーションとは何か？
渡辺 政隆 (文部科学省科学技術政策研究所上席研究官・サイエンスライター)

- 32 NEWS & TOPICS
世界の科学ニュース&おもしろニュースを10分で

- 34 milsilカフェ / 編集後記 / 次号予告



表紙写真

世界でただ1種、海に潜って海藻を食べるウミイグアナは、体が冷えると日光浴をして体を温めます。

©OASIS

創刊にあたって

科学を文化に

国立科学博物館長 ささきまさみね 佐々木 正峰

国立科学博物館は昨年に創立130周年を迎えました。これまで、自然科学および社会教育の振興^{しんこう}を目的に、日本における唯一の国立の総合的な科学博物館としての指導的役割も果たしてきました。平成13年に独立行政法人となってからは、運営の効率化を図りつつ、博物館の人的・物的資源を最大限に活かすとともに、大学、企業、地域など社会の諸セクターとの連携を深め、より広範な自然科学に関する知の提供、科学リテラシー^{じょうせい}醸成のための事業を展開してまいりました。これはまた、それまで以上に、科学を文化に、生活の中に、溶け込ませる^{えいせい}営為でもありました。

そのような一環として、このたび39年間続いた『国立科学博物館ニュース』を見直し、「milsil」を創刊することとしました。

本誌の創刊は、当館の特色を踏まえ、人々に対して自然や科学技術などに関する情報を積極的に発信し、適切な知識や判断力をもって諸課題に対応していくための科学リテラシーの^{かんよう}涵養に資することを目的としています。誌面づくりは当館の研究員はもとより、当館のネットワークを活かして諸機関のご協力をいただくことで、多くの皆様に、広範な自然科学に関する知の^{たの}愉しさを提供していきたいと考えています。誕生したばかりの新雑誌に、多くの皆様から、励まし、助言をいただき、成長させていくことができれば幸いです。

